

チャペル週報

No.20

2013 .10.28～11.1

どのようにして、若者は
歩む道を清めるべきでしょうか。
あなたの御言葉どおりに道を保つことです。

(詩編119：9)



西宮上ヶ原キャンパス ランパス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

10月28日(月) 神 宗教総部によるチャペル

経 人間を考える① 舟 木 讓 (経済学部教授)

人 広 瀬 康 夫 (吉岡記念館職員)

聖和 聖書物語「イエスさま、あらしをしずめる」

10月29日(火) 院 徳 田 真 二 (総合支援センター課長)

神 上ヶ原ハビタット

文 Andreas Rusterholz (宗教主事)

社 動詞シリーズ「悩む」⑧ 島 村 恭 則 (社会学部教授)

法 秋季巡回チャペル ゴスペルクワイア P.O.V.

経 学生生活オリエンテーション(追加①)

商 伊 藤 正 範 (商学部教授)

国 音楽チャペル 聖歌隊

聖和 教育学部チャペルオルガニストによるプログラム

総 久保田 哲 夫 (総合政策学部教授)

10月30日(水) 神 <宗教改革記念日礼拝> 小 栗 献 (日本基督教団神戸聖愛教会牧師)

社 宗教総部によるチャペル

法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)

経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)

商 音楽チャペル バロックアンサンブル

国 学生活動報告 上ヶ原ハビタット

聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)

理 前 川 裕 (宗教主事)

総 細 見 和 志 (総合政策学部教授)

10月31日(木) 神 <English Chapel> David Wider (神学部教授)

文 宗教総部によるチャペル

社 秋の音楽チャペル② ハンドベルクワイア

法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)

経 学生生活オリエンテーション(追加②)

商 阿 萬 弘 行 (商学部教授)

国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)

聖和 「2013年度亡くなった方を覚えて」小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)

総 李 政 元 (総合政策学部教授)

11月1日(金) 聖和 「施設実習を終えて」浅 野 千 尋 (保2) 林 千 絢 (保2)

宗教改革記念日を覚えて

嶺 重 淑

今年も宗教改革記念日(10月31日)を迎えようとしていますが、4年後の2017年は、M. ルターが宗教改革を始めた年からちょうど500年目にあたり、この「宗教改革500年」を記念して、日本のキリスト教界でも新しい聖書翻訳の刊行等、様々な記念事業の準備が始められています。

私は今年の春、一週間の日程でドイツに赴き、ルターゆかりの地を訪ねてきました。訪れたのは、落雷に遭って死の恐怖を体験したルターが、父の反対を押し切って入会したアウグスティヌス修道院、ヴォルムス帝国議会後、帝国追放の身となったルターが10ヶ月間匿われ、新約聖書のドイツ語訳を完成させたヴァルトブルク城、そして、ルターが「95箇条の提題」を発表し、宗教改革が始まった町として知られるヴィッテンベルク、さらには、ルターの生誕地であると共に生涯最後の地でもあるアイスレーベン等々。どれもこれも印象に残るものばかりであり、今から500年前の世界に生き、福音の真理を解き明かそうとして波乱万丈の生涯を送ったルターの息吹に触れることができた貴重な旅となりました。

ところで、ルターが著した『キリスト者の自由』という書物は、宗教改革の代表的著作としてよく知られていますが、その冒頭部分にはこのような二つの命題が記されています。

「キリスト者はすべてのものの上に立つ自由な主人であって、だれにも服しない。」

「キリスト者はすべてのものに仕える僕であって、だれにでも服する。」

(徳善義和訳)

ここには「主人」であると同時に「僕」でもあるというキリスト者の立場が示され、信仰によって神から自由を与えられた者は、他者に対しては愛と奉仕に生きるという旨のことが言明されていますが、私にはこの言葉が、関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”に驚くほど似ているように思えて仕方ありません。

関西学院は来年創立125周年を迎えようとしていますが、その意味では、これまでのプロテスタント教会500年の歴史の4分の1の時期を共に歩んできたことになります。125年にわたる学院の歩みに感謝しつつ、また創立時の建学の精神を思い起こしつつ、創立125周年を迎える心の準備を始めたいと思います。

(人間福祉学部教授・宗教主事)

●**夕べの祈り at ランバス～テゼの音楽とともに～**

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。どなたでもご参加ください。

第2回 11月7日(木) 18:30～20:00

第3回 1月9日(木) 18:30～20:00

ところ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主催：夕べの祈り準備会(学生有志)

協力：関西学院宗教活動委員会

●**大阪梅田キャンパスチャペル**

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

11月8日、15日、22日、29日(金)

18:00～18:20 1405教室

●**関西学院会館の日曜礼拝**

授業期間中の第二第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行なわれます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

11月10日(日)、24日(日)

いずれも関西学院会館ベーツチャペルにて、10:00～11:00

●**リトリート at 千刈 ～テゼ共同体のブラザーを迎えて～**

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

とき：11月30日(土)～12月1日(日)

ところ：関西学院千刈キャンプ

主催：関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ：宗教センター(吉岡記念館事務室)

※申込みは神戸三田・聖和各キャンパスでも可

●**「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ**

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費はチャリティーとしてアジアにおける奉仕活動などのために献金させていただきます。

開催日時：12月20日(金) 17:30開場 18:30開始

参加費：2000円

チケット販売：関西学院大学生協/チケットぴあ/ABCチケットセンター

発売開始日：11月1日(金)

●**CD・DVDライブラリー**

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●**使用済み切手収集にご協力ください**

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手を収集しています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。